

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーC1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	越智和夫			実務 経験	有	職種	美術デザイン業務・映像デザインプロ デューサー業務				
授業概要											
<p>具体的に放送局における番組制作の中の映像デザイン業務を理解する。ドラマ番組における美術業務、音楽番組における美術業務、CG/映像合成、ニュース・教育・教養番組の美術、芸能音楽における装置・装飾・扮装からテレビ美術への歴史。テレビ美術の基本を学ぶ。実際のセットデザインを学び実践してみる。美術全ての基本「絵を描く」、文字で書かれたことを、絵に描いて人に伝える。</p>											
到達目標											
<p>放送の歴史はテレビジョンの発明から、白黒生放送の時代、カラー化、ハイビジョン化、デジタルハイビジョン化、衛星放送、4K、8Kへと日々進化している電子技術の世界である。その中における美術業務は、太古の時代からの芸能音楽全般の装置、装飾、扮装の伝統文化であり、芸能の世界にはなくてはならない存在として発展してきた文化である。放送局における映像デザインの中の美術業務や文化の発展形を理解する。</p>											
授業方法											
<p>学習目的に沿った具体的な放送局における番組制作の中の映像デザイン業務を理解する。ドラマ番組における美術業務、音楽番組における美術業務、CG/映像合成、ニュース・教育・教養番組の美術、芸能音楽における装置・装飾・扮装からテレビ美術への歴史やテレビ美術の基本を学ぶ。</p>											
成績評価方法											
<p>学期末に試験を行います。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。</p>											
回数	授業計画										
第1回	自己紹介、放送の中の美術業務について										
第2回	テレビ美術とは。絵を描いて人に伝える。										
第3回	美術の歴史、放送の歴史。絵を描く										

映像リテラシーC1

第4回	映像デザイン、放送美術の仕事。DVD活用。
第5回	～第6回NHKの番組作りの中の美術
第7回	ドラマ番組の中の美術。DVD活用。
第8回	音楽、芸能番組の中の美術。DVD活用。
第9回	ニュース、教育、教養番組の美術。DVD活用。
第10回	音楽を聞いて、歌詞を読んでセットを考える。
第11回	放送の未来と美術の将来。
第12回	道具帳、平面図を描いてみる。
第13回	CG、映像合成の番組を視聴する。
第14回	～第15回テスト対策等、おさらい。